

外務大臣
岡田克也様

冠省

2010年3月9日(火)NHK ニュースウォッチ9(午後9:00~)にて、「“密約報告書”提出へ、岡田外相に聞く」を拝聴しました。日米密約の真相に迫るよい番組で、あらためて政権交代の意味を実感したことでした。この番組で「廃棄された外務省資料」についての言及がありました。実は1972年の日中国交正常化交渉の記録においても、類似の問題があると思われますので、調査をお願いする次第です。

外務省アジア局中国課が昭和63年9月に「執務資料」としてタイプ印刷した記録のなかに1972年9月26日午後に行われた田中角栄首相と周恩来総理との会談記録が収められています(その後、情報公開法に基づいて、会談記録が公開されましたが、内容は同一でした)。

この会談冒頭で周恩来は前夜の田中スピーチについてこう述べた(と記録されています)。(日本政府首脳が国交正常化問題を法的ではなく、政治的に解決したいと言ったことを高く評価する。戦争のため幾百万の中国人が犠牲になった。日本の損害も大きかった。われわれはこのような歴史の教訓を忘れてはならぬ。田中首相が述べた「過去の不幸なことを反省する」という考え方は、われわれとしても受け入れられる。しかし、田中首相の「中国人民に迷惑をかけた」との言葉は中国人の反感を呼ぶ。中国では添了麻烦(迷惑)とは小さなことにしか使われないからである。[下線は矢吹]

周恩来によるこの田中批判は、その後、中国側から折りに触れて言及され、田中の日中戦争認識を批判する言葉として、かなり人口に膾炙しています。

ところで、この周恩来発言を受けた田中の発言は、日本側記録では、次のように書かれています。

(大筋において周総理の話はよく理解できる。[下線は矢吹]日本側においては、国交正常化にあたり、現実問題として処理しなければならぬ問題が沢山ある。しかし、訪中の第一目的は国交正常化を実現し、新しい友好のスタートを切ることである。従って、これにすべての重点をおいて考えるべきだと思う。自民党のなかにも、国民のなかにも、現在ある問題を具体的に解決することを、国交正常化の条件とする向きもあるが、私も大平外相も、すべてに優先して国交正常化をはかるべきであると国民に説いている。日中国交正常化は日中両国民のため、ひいてはアジア・世界のために必要であるというのが私の信念である)。

周恩来の批判に対して、田中は「ご迷惑をかけた」という日本語は、決してそんなに軽いものではなく、誠心誠意お詫びの気持を表明したものだと言及したであろうことは、帰国当日の自民党における帰国報告や記者会見に照らして容易に推測されることであります。しかしながら、外務省の公表した会談記録においては、田中は「大筋において周総理の話はよく理解できる」と、答えるにとどめたことになっています。記録を読む限り、周恩来

の批判を田中がまったく意に介せず、聞き流したに等しい形になっているのは異様です。田中はここで周恩来の批判は誤解に基づくものであり、田中の真意はそれとは異なることを弁明したはずであり、それは日中首脳双方のやりとりを仔細に点検すれば、容易に推測できることでもあります。

この疑問を解くために、私は中国を訪れ、中共中央文献研究室の専門家に中国側資料の閲覧を依頼しました。会談記録自体はまだ公表されていないのですが、公刊された姫鵬飛外相の回顧録のなかで、田中首相は「誠心誠意の謝罪」の意を表明したと明記されています(矢吹晋『激辛書評で知る中国の政治経済の虚実』日経BP社、2007年、106ページ)。田中角栄・毛沢東会見の記録もこれを裏書しています(同書、107～109ページ)。

こうして田中首相の帰国報告や記者会見の基調とは異なるものとして外務省会談記録が編集されており、それに基づいて「田中謝罪はなかった」とか、ひいては「謝罪なき国交正常化が禍根を残した」、といった言説が行われている事実は、日中会談の真相をゆがめるものであり、看過しえないものであります。さらに中国側にのみ、会談の真相を伝える記録が残され、日本側には資料が欠如しているのも、問題であります。

吉野文六元局長が「資料の廃棄は恥じべきこと」と証言しておられるのは、正論と思われれます。それゆえ、外務大臣に以下の2点を要望します。

一つは、「大筋において周総理の話はよく理解できる」とされている田中発言において、「大筋において」と要約された箇所の出発点を可能なかぎり復元すること。

二つは、田中迷惑発言に関する関連資料の調査。

以上の2点が明らかになれば、田中訪中の真実が明らかになり、今後の日中平和の基礎を固めることができるものと考えます。ご配慮を請うものであります。

2010年3月10日

矢吹 晋

(横浜市立大学名誉教授)

194-0041 東京都町田市玉川学園 3-18-2

tel&fax:042-729-3501

mobile:080-5082-8161

e-mail:yabuki@ca2.so-net.ne.jp

http://www25.big.or.jp/~yabuki/

矢吹 晋
